

チョッキン草刈隊

6月24日（木）酒田市宮海字新林国有林1128林班内のクロマツ造林地でチョッキン草刈作業（下刈作業）を実施しました。

前日は強風と豪雨の天気でしたが、当日は園児達の願いが届いたのか、くもりで初夏の季節としては爽やかな心地よい天気恵まれました。チョッキン草刈隊には年長組園児37名、園児の父兄等31名、保育園先生4名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター5名、庄内森林管理署1名、庄内総合支庁1名、庄内海岸のクロマツをたたえる会1名、総勢80名でチョッキン草刈作業を行いました。

チョッキン草刈隊の出発式では、園児達が草刈隊のルールについて学び、草刈隊の隊長に保育園の先生が、隊長補佐に朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター及び庄内森林管理署職員等が任命され、園児の皆さんは隊員に任命されました。隊員の皆さんは「エイエイオー」の掛け声のもと、父兄等と手を繋ぎクロマツ林の中を散策しながら約20分を歩き作業箇所に着きました。

作業箇所では開会式が行われ、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター青山所長より挨拶がありました。次に、隊員の皆さんがクロマツ林を育てるために何故下刈作業が必要なのかを紙芝居をとおして学びました。チョッキン草刈作業の技術指導は、庄内森林管理署庄司流域管理調整官から鎌及びハサミの安全な使い方について指導を受けました。

チョッキン草刈作業は、先ず、隊員の父兄等がクロマツの周囲の草等を刈払い、次に、隊員がクロマツの根元に残っている草をハサミでチョッキンする作業です。

父兄等の作業中には、隊員から「ガンバレ、ガンバレ」の声援が飛び交い、頑張りにも力が入っているようでした。次に、隊員がハサミを手に作業が開始されると親と子の協働作業が見受けられ、普段なかなか出来ない親子のコミュニケーションなども交わされ賑やかな作業になりました。隊員と父兄等の皆さんの頑張りでクロマツ造林地の下草が綺麗に刈られ作業が終了しました。

隊員の皆さんの頑なりに、朝日庄内森林環境保全センター所長よりオオカメノキをモチーフとした記念のメダルが一人一人の隊員に贈呈されました。

保育園の園長先生からの挨拶では、隊員の皆さん、父兄等の皆さんの頑なりにクロマツ造林地の下草が刈られこのように綺麗になりました。クロマツさんから皆さんに「ありがとう」とお礼の言葉がささやかれているようです。隊員の皆さんは、クロマツさん以外にも「ありがとう」と言われように頑張りましょうと挨拶がありました。

クロマツ造林地の草刈を終えた達成感を感じ、最後に記念撮影を行いチョッキン草刈作業を終了しました。

